



# 第51期 第2四半期 株主通信

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日



代表取締役社長  
**栢森 雅勝**

ご挨拶

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期の業績は、昨年11月より導入が始まりましたスマート遊技機がファンより高い支持を受けたことにより、設備投資市場が活性化し、それに伴いまして大幅な増収増益、かつ過去最高益となりました。

その結果、通期の業績につきまして予想の修正を行うとともに、配当予想につきましても、期末において50円の増配(期末80円)を行い、過去最高となる年間100円といたしました。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

業績概要

当第2四半期連結累計期間におけるパチンコ業界におきましては、昨年11月よりスマートパチスロ、今年4月よりスマートパチンコの導入が始まりました。当第2四半期末時点におけるスマート遊技機の導入状況ですが、スマートパチスロは累計20機種が導入され、パチスロ機全体における設置割合23.8%(第1四半期末比+6.7ポイント)となりました。スマートパチンコでは累計7機種が導入され、パチンコ機全体における設置割合3.0%(同+1.4ポイント)となりました(当社「DK-SIS」データ参照)。このようにスマート遊技機市場は、スマートパチスロを中心として、導入期から成長期へ変化しつつあります。

次に遊技機の稼動状況ですが、2023年7月～9月の期間平均で前年同期比106.4%となりました。パチスロ機はファンから高い支持を得たパチスロ6.5号機や、スマートパチスロの登場により稼動の回復基調が鮮明になっており、前年同期比123.3%と大幅に上昇しましたが、パチンコ機は前年同期比96.3%と低調に推移しました(当社「DK-SIS」データ比較)。

今後もスマート遊技機に対応するための設備投資は活発化し、当面は回復基調が鮮明なパチスロ関連の設備投資が中心となって推移する見込みです。

このような市場環境のもと、情報システム事業におきましては、スマート遊技機登場による活発な設備投資需要に応えるため、スマート遊技機専用カードユニットや情報公開端末の拡販、スマート遊技機のデータ管理に最適なAIホールコンピュータ「X(カイ)」への

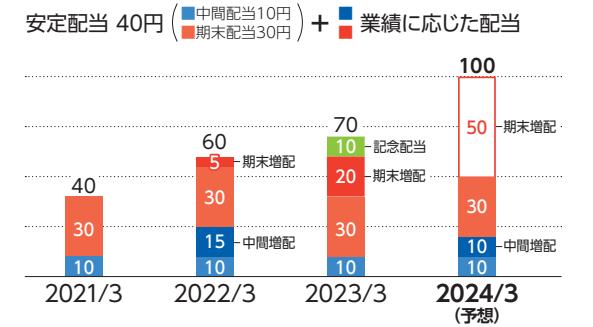
システムアップによる入替促進を行いました。また、スマート遊技機登場による市場変化への対応に関連したMIRAIGATEサービスのさらなる拡大を目指し、煩雑な機種入替時の作業が短時間で完了し業務効率化に貢献する「楽しく入替運用オプション」、クラウドチェーン店管理システム「ClarifLink」、周辺エリアの集客状況を提供する商圈分析サービス「Market-SIS」の普及を促進しました。

7月には今年で20年目を迎えた「DK-SIS白書2023年度版(2022年データ)」を刊行しました。本書はパチンコホールから日々送信される約141万台(市場シェア39.7%)、年間売上7.4兆円という大規模かつ正確な営業データを集計・分析したもので、年間の分析結果を掲載し、業界関係の皆さまには将来を見通す上での指標としてご活用いただいております。また、同月にパチンコ業界全体に向けた「Webセミナー」を開催し、近時の業界動向を踏まえたデータ管理からの業績向上手法等について提案しました。

アミューズメント事業におきましては、スマートパチスロ事業参入に向けて、2023年4月より孫会社化したライリィ社と連携し、パチスロ機の企画・ソフト開発を開始しております。また、遊技機に適した有力コンテンツ(IP)の獲得に向けた活動を推進しました。さらに、生産部門との組織統合により、企画開発から製造まで一貫した事業体制の強化を引き続き進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高291億68百万円(前年同期比158.4%増)、営業利益78億99百万円(同953.6%増)、経常利益79億38百万円(同810.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益55億2百万円(同864.6%増)と、大幅な増収増益、かつ過去最高益となりました。

2024年3月期配当予想



2024年3月期第2四半期 資産の状況



(単位：百万円、単位未満は切捨て)

業績ハイライト

(単位：百万円、単位未満は切捨て)

売上高



営業利益



経常利益



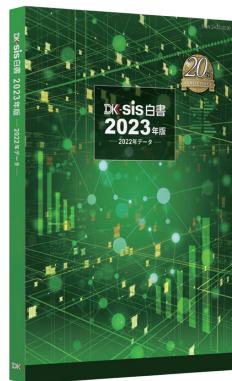
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



〈4月1日〉

株式会社ライリィを孫会社化

中期経営計画に基づくスマートパチスロ事業参入を目指し、パチスロのメインソフト開発に高い技術と経験・実績のあるライリィを、パチンコ遊技機用ソフト開発を手掛ける子会社のアロフトが子会社化しました。



〈7月〉

「DK-SIS白書2023年版  
-2022年データ-」刊行

毎年発行している「DK-SIS白書」は、今年で20年目を迎えました。本書はパチンコホールから日々送信される大規模かつ正確な営業データ(約141万台、年間売上7.4兆円)を集計・分析したもので、年間の分析結果を掲載し、業界の皆さまに将来を見通す上での指標としてご活用いただいています。

〈7月24日～28日〉

「DK-SISオンラインセミナー 躍動」開催

毎年、業界向けに開催しているセミナーでは、最新の業界動向や、今後の業績向上につながるさまざまな営業手法の解説を行っています。

スマート遊技機登場後、初開催となった「DK-SISオンラインセミナー 躍動」ではスマートパチスロを中心に解説し、約4,000名の方にご視聴いただきました。



2023 April

May

June

July

August

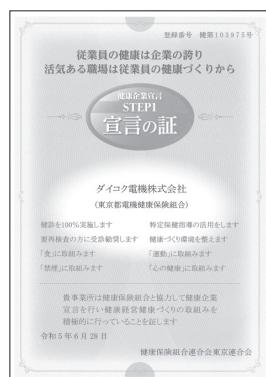
September

〈6月28日〉

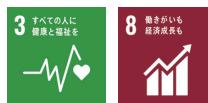
健康企業宣言

従業員の健康を重要な経営資源と捉え、健康増進に積極的に取り組むことで、生産性の向上・企業価値の向上・労働災害の減少を目指す、『健康企業宣言』をしました。

まずは、「STEP1」として、今後1年をかけて健康優良企業「銀の認定」取得を目指します。将来的には経済産業省の健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人」認定を目標としています。



健康企業宣言  
「宣言の証」



〈9月8日・9日〉

「名証IRエキスポ2023」に出展

名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)で開催された「名証IRエキスポ2023」に今年もブース出展しました。新型コロナウイルスが5類に移行して初の開催となった当イベントは、2日間で約8,500名もの来場があり、当社ブースにも多くの方に訪問いただきました。パチンコ業界の現状や会社業績、株主優待などの株主還元について、1対1での個別説明に加え、ミニ説明会も開催しました。



〈9月～10月〉

「プログラミング教室無料体験会」開催

愛知県春日井市の当社事業所に2022年11月より常設している「ロボキューブプログラミング教室」の3期生募集のため、小学生とその保護者を対象とした親子プログラミング教室無料体験会を9月から10月の金曜・土日に計17回開催し、リモコンカーを組み立て走らせるプログラミングを体験してもらいました。



情報システム事業

パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売



●ホールコンピュータ | ホール経営用のコンピュータ



●情報公開機器 | 遊技ファン用のデータ表示機



●サイトセブン | 遊技ファン用のデータ閲覧サービス

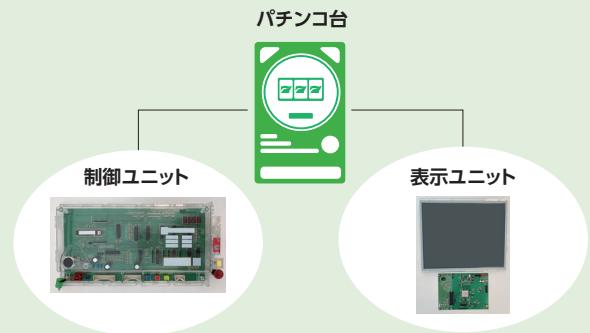


当期の営業概況

「パチンコホール向け製品等」の売上は、スマート遊技機専用カードユニットを含むカードユニット「VEGASIA」、情報公開端末「REVOLA」、「BIGMO PREMIUMII」が好調に推移した結果、前年同期を大幅に上回りました。「サービス」の売上は、スマート遊技機登場による市場変化に対応した主要サービスへの加盟店舗数が増えたこともあり、前年同期を上回りました。

アミューズメント事業

パチンコ・パチスロ遊技機用ユニットの開発・製造・販売



基本動作をつかさどるハードウェアとそれに搭載されるプログラムから構成され、パチンコ遊技機の心臓部といえます。

パチンコ遊技機のゲーム内容を表現する部分で、ハードウェアとそれに搭載されるプログラムから構成されます。



当期の営業概況

「遊技機メーカー向けの表示・制御ユニット等」の売上、「部品・その他」の売上ともに、前年同期を下回りました。

※セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

会社概要

商号 ダイコク電機株式会社  
DAIKOKU DENKI CO., LTD.

創業 1965年 9月

設立 1973年 7月

資本金 6億7千4百万円

本社 名古屋市中村区那古野一丁目43番5号

従業員数 単体: 390名 連結: 642名

事業内容 パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売  
パチンコ・パチスロ遊技機用ユニットの開発・製造・販売

決算期 3月31日

事業所 3事業所、4支店、13営業所

連結子会社 元気株式会社  
DAXEL株式会社  
ダイコク産業株式会社  
アロフト株式会社  
株式会社グローバルワイズ

役員

取締役会長 大上 誠一郎

代表取締役社長 栢 森 雅 勝

代表取締役専務 栢 森 健

代表取締役専務 大 成 俊 文

取締役 足 立 芳 寛

取締役 櫻 井 由 美 子

常勤監査役 吉 川 幸 治 一

監査役 中 島 健 一

監査役 森 田 幸 典 之

監査役 今 井 宣 之

(注) 1. 取締役 足立芳寛氏、櫻井由美子氏は社外取締役であります。  
2. 監査役 中島健一氏、森田幸典氏、今井宣之氏は社外監査役であります。

執行役員

上席執行役員 加 藤 忠 芳

上席執行役員 尾 関 貴 夫

執行役員 牧 久 視

執行役員 岡 本 篤 憲

執行役員 入 江 明

執行役員 猪 飼 俊 光

執行役員 石 原 敬 久

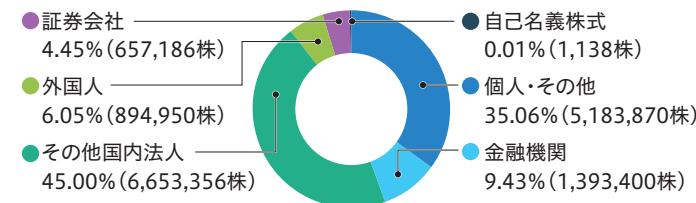
株式の状況

発行可能株式総数 66,747,000 株

発行済株式総数 14,783,900 株

株主数 13,574 名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
円谷フィールドホールディングス株式会社	2,958,400	20.01
株式会社KCプラス	1,199,200	8.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	935,300	6.32
栢森 雅勝	902,350	6.10
公益財団法人栢森情報科学振興財団	750,000	5.07
株式会社大黒屋	750,000	5.07
ダイコク興産株式会社	490,000	3.31
栢森 新治	443,400	2.99
栢森 健	443,000	2.99
栢森 美智子	436,000	2.94

- 事業年度** 4月1日から翌年3月31日  
**定時株主総会** 6月下旬  
**基準日** 定時株主総会 3月31日  
 期末配当 3月31日  
 中間配当 9月30日  
 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- 一単元の株式数** 100株
- 株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所** 〒460-8685  
 名古屋市中区栄三丁目15番33号  
 三井住友信託銀行株式会社  
 証券代行部
- 郵便物送付先  
電話照会先** 〒168-0063  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社  
 証券代行部  
 TEL.0120-782-031(フリーダイヤル)  
 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の  
 本店及び全国各支店で行っております。
- 公告方法** 電子公告によります。ただし、やむを得ない  
 事由によって電子公告ができない場合は、  
 日本経済新聞に掲載いたします。
- 公告のホームページアドレス** <https://www.daikoku.co.jp>

## 株主優待制度のご案内

毎年9月末日時点の当社株主名簿に記載または記録された100株以上をご所有する株主さまを対象に、保有株式数と継続保有期間に応じてオリジナルQUOカードを贈呈いたします。

お届けは毎年12月上旬に発送のこちらの「**第2四半期株主通信**」に同封してお送りしております。

今後とも、変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



こちらの  
株主通信に  
同封!

保有株式数	継続保有期間		
	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
100株以上 ～500株未満	1,000円分	2,000円分	3,000円分
500株以上 ～1,000株未満	2,000円分	3,000円分	4,000円分
1,000株以上	3,000円分	4,000円分	5,000円分

※継続保有期間とは、同一の株主番号で株主名簿基準日(毎年3月末日及び9月末日)の株主名簿に連続で記載または記録されていることをいいます。